

2013年7月18日

防衛省南関東防衛局  
局長 丸井 博 殿

厚木基地爆音防止期成同盟  
委員長 大波 修 二  
第四次厚木爆音訴訟原告団  
団 長 藤田 榮 治  
原子力空母の母港化に反対し基地のない  
神奈川をめざす県央共闘会議  
代 表 二見 昇  
神 奈 川 平 和 運 動 セ ン タ ー  
代 表 宇野 峰 雪

**固定翼哨戒機P1のエンジン不具合発生に対する抗議と**  
**厚木基地配備計画白紙撤回申し入れ**

去る6月20日、読売新聞に報道された「固定翼哨戒機P1の深刻な不具合」問題は、貴省幹部が「動力部分に不具合が発生し、深刻な事態だ」、とコメントしているように航空機にとっては、「あってはならない重大なエンジンの不具合である」と受け止めざるを得ない。

この報道を受けて我々は、即日「不具合発生への抗議と厚木基地への配備撤回を要求」する旨の抗議声明を発したところであるが、「固定翼哨戒機P1の安全性」については、開発段階から「リベットの強度不足」や「静強度試験における水平尾翼変形」、「強度試験における主翼や胴体のねじ部分の亀裂発生」等の不具合が頻繁に発生している。

我々はその都度、安全性を危惧し、「不具合内容と対策の明確な情報公開および同機の厚木基地への配備撤回の申し入れ」を行ってきたが、貴職は我々の申し入れに対し耳も貸さず放置したまま現在に至っているが、その挙句が今回の航空機にとって致命的ともいえる「エンジン不具合の発生」である。

我々は、この事態を重く受け止め、改めてエンジン不具合発生の経過と原因究明、事後対策の明確な説明を求めるとともに、P1の厚木基地配備の白紙撤回を申し入れるものである。

なお、本件とは別ではあるが、6月29日から7月1日未明にかけて、空母艦載機の飛行が確認されている。しかも一度だけではない。100デシベル以上の騒音が14回も測定されている。これは明確な飛行協定違反であり、深夜、すさまじい爆音に睡眠を妨害された住民は怒り心頭に達している。大和市・綾瀬市をはじめとっていくつかの自治体も抗議を行っているが、南関東防衛局としても、このような事がおきかないよう嚴重に米軍に対し注意をしていただきたい。

## 記

### I. エンジン不具合発生の経過と原因、対策等について

- 1) 不具合発生から貴省による情報が発表されるまで1ヶ月余も要したのはなぜか。
- 2) 今回の不具合発生時に停止したエンジンは、4基中何基であったのか。
- 3) 通常の運用では想定されない、高高度とはどのような高度か、また通常の運用時における高度とはどのような高度か。その高度差はどのような高度か。具体的な数値で回答されたい。
- 4) 高高度における制限速度を超過した高速度とはどのような速度か。また制限速度とはどのような速度か。具体的な数値で回答願いたい。
- 5) 不具合発生時の該当機（5号機）の飛行高度と推力低下による降下高度はどのような高度であったのか
- 6) 事故原因と対策内容について、判明次第速やかに公表されたい。
- 7) 対策実施後の対策個所のエンジン単体および航空機としての確認項目と確認手順を開示されたい。

### II. P-1の厚木基地配備計画の白紙撤回とP-1開発計画の即時中止

今回の不具合発生は、航空機として致命的な問題であり、住民の安全を守るため厚木基地への配備計画を撤回するとともにP-1開発計画の即時中止を申し入れる。

以 上